

保護者各位

熱性けいれんについて

保育園では解熱剤等の坐薬をお預かりすることは基本的にできません。しかし、熱性けいれんを予防する坐薬に限ってはお預かりすることが可能です。保育園での保管を希望される場合は、下記の『ダイアップ坐薬預かり依頼書』に必要事項をご記入の上、職員に手渡ししてください。その際にはけいれん時やその前後の様子をお聞かせください。なお、抗けいれん坐薬は1本ずつのお預かりになります。また、熱性けいれんを起こしたことのあるお子さんについては、元気があり食欲があっても体温 38.0℃以上になりましたら、ご連絡させていただきます。また解熱しても発熱後24時間はご自宅で様子を見て健康観察していただきたいと思います。

《ダイアップ坐薬 挿入までの流れ》

① 検温にて、医師から坐薬の挿入を支持されている体温がみられた。

↓

② 保護者に状態を連絡、指示を受けてダイアップ坐薬の挿入の有無を確認する。

↓

③ 迎えまでの間、水分を取りながら安静にしてお迎えを待つ。

↓

④ 降園 ※坐薬を挿入した時間を記載した用紙をお渡しいたします。

2本目以降の坐薬を挿入する際の参考にしてください。

..... 切 り 取 り 線

ダイアップ坐薬預かり依頼書

組 園児名

保護者氏名

発熱に伴い、熱性けいれんを起こす可能性があるため、医師の処方によりダイアップ坐薬が処方されています。緊急時に備え、保育園用にダイアップ坐薬の保管をお願いします。また、保護者の指示でダイアップ坐薬の挿入を依頼します。

《ダイアップ坐薬について》

処方された病院名：

医師名：

処方日：

服用依頼時の具体的症状：

必ず連絡の取れる連絡先：

電話番号：

その他注意事項：